

商店街活性化事業計画の概要

地域

北海道帯広市

認定日

平成23年3月31日

事業名：高齢者や障がいのある方と協働・共生する商店街づくり事業

事業者名：帯広電信通り商店街振興組合（北海道帯広市）

事業実施期間 平成23年4月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

・空き店舗をバリアフリー化し、高齢者や障がいのある方と協働で「生鮮品直売」「何でも相談」等を実施。また、次の世代の担い手を育成するため、地域の大学と共同で「独自商品」を開発・販売し学生が就労体験できる場を整備。さらに、「市民参加型の園芸イベント」等を毎年継続的に実施する。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

・地域住民に対してアンケート調査を実施したところ、店内のバリアフリー化、1個からでも気軽に買える青果店、商店街発の独自商品の開発等に関する要望が寄せられている。

◆実施計画の主な内容

- ・既存の生鮮品販売店をバリアフリー化し、要望が多かった産直品の取扱を拡大するとともに、喫茶交流スペースを新設し高齢者や若年層の交流を促進する。
- ・高齢者や障がい者等から健康・介護・育児に関する相談を受けるため、地域の社会福祉法人や障がい者支援を目的としたNPO法人と連携し、気軽に何でも相談できる場を整備する。
- ・地元の大学等と連携し、地域ならではの食材を活用した独自商品を開発・販売することによって、学生の就労体験及び次世代の商店街を担う後継者育成を図る。
- ・商店街内にあるお寺で市民参加型の園芸イベントを行うとともに、商店街内の空き地にポケットパークを整備する。

平成23年度

- 産直生鮮品販売拡大・喫茶スペース新設事業
- 買い物弱者・独居高齢者安否確認事業
- よろず相談事業
- 製造販売一体型店舗運営事業・商店街情報発信並びにコミュニティ活動拠点事業
- 秋だうまいべや収穫祭(年1回秋季開催)

平成24年度

- 花ば咲かせよ園芸市(年1回春季開催)
- コミュニティ食堂設置運営事業
- 産学連携チャレンジショップ事業
- 秋だうまいべや収穫祭(年1回秋季開催)

平成25年度

- 起業家支援チャレンジショップ事業
- スイーツ業態起業の誘致
- 秋だうまいべや収穫祭(年1回秋季開催)
- 花ば咲かせよ園芸市(年1回春季開催)

平成26年度

- 秋だうまいべや収穫祭(年1回秋季開催)
- 花ば咲かせよ園芸市(年1回春季開催)

平成27年度

- 秋だうまいべや収穫祭(年1回秋季開催)
- 花ば咲かせよ園芸市(年1回春季開催)

■商店街活性化事業計画の目標

- ・10店舗ある空き店舗を平成26年度までに3店舗とする。
- ・平成22年10月の通行量189人/日を、平成26年度までに229人/日とする。